

1 学校の重点目標

- ・ 個に応じた指導法の研究を進め、主体的・対話的で深い学びのある授業を実践する。
- ・ 汗を流して働く活動の充実を図り、思いやりや社会性などの豊かな心を育成する。
- ・ たくましい体力・気力づくりと健康・安全意識を高める教育を推進する。

2 課題と改善策

	評価項目	評価	評価結果と改善方策
学校経営	教育目標の具現化・教育課程の改善・充実	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度も多くの賞を頂いた。職員も子供たちも大きな自信となった。 ・教職員の減少による校務分掌の見直しや業務改善を更に進めていく必要がある。
	校務分掌組織の機能化と活力ある教育活動の推進	3.0	
学習指導	授業・教育内容の改善	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用をはじめ、研修と普段の授業をつなげて主体的・対話的で深い学びのある授業になるよう授業改善を進めることができた。 ・意図的・計画的な読書指導をすることで、本好きの子供たちが増えてきている。
	基本的な学習習慣の形成・家庭学習の充実	2.8	
	読書指導の充実	3.3	
生徒指導	学級経営の充実	2.9	<ul style="list-style-type: none"> ・報告・連絡・相談を徹底すること、早い段階でチーム対応することができた。引き続き、児童の「規範意識を高める指導」が必要である。 ・兄弟学級での掃除やふれあい活動を通じて思いやりの心を育むことができた。
	基本的な生活習慣/心に届く生徒指導	2.7	
	道徳教育・特別活動の充実/ふれあい活動の推進	3.1	
保健指導	教科体育の充実・体力作りの推進	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・「チャレンジかごしま」では3項目で県ベスト10に入るという成績を収めることができた。 ・基本的な感染症対策をしながら多くの行事を再開した。PTAとも連動し、児童の生活習慣の育成にも力を入れた。
	生活習慣の育成	3.2	
	安全指導/給食指導	3.1	
その他	幼保小連携/特別支援教育の推進	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・支援学級の指導の充実を図るとともに、有効な個に応じた指導・支援策を検討した。 ・研究授業や1人1授業を通して実践的な研修をすることができた。 ・児童数減に伴い、掃除場所の見直しを図った。 ・PTA活動では、「一人一役」を無くし、「誰もができるPTA」を目指して、業務の精選を行った。
	人権同和教育の推進	3.0	
	ふるさと教育・人材活用	3.2	
	A E A活用・異文化理解	3.2	
	学校園・清掃指導	2.8	
	P T A活動の充実	3.1	
	校内研修	3.2	
個人研究	2.8		

3 次学期に向けての取組

- 充実した職員研修をもとに「主体的・対話的で深い学び」をテーマに、「学びに向かう力の育成」を重点に、授業改善をすすめることができた。
- ボランティア活動を日課表の中に組み込むとともに、授業時数の精選等を行い、業務改善も推進していきたい。